



環境科学科2年生「SS環境科学探究V」

教科等横断型授業見学会Ⅱを実施しました！

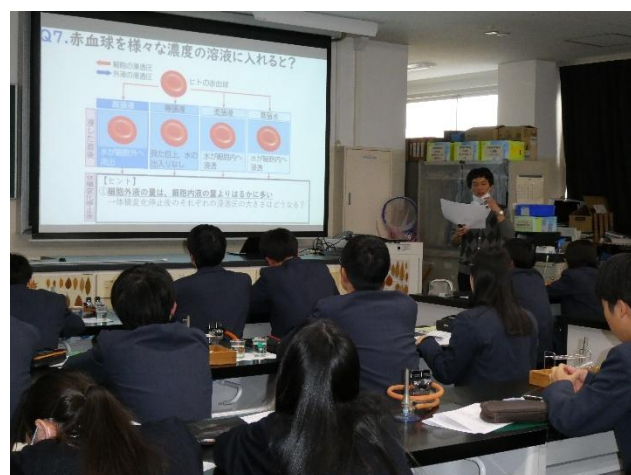
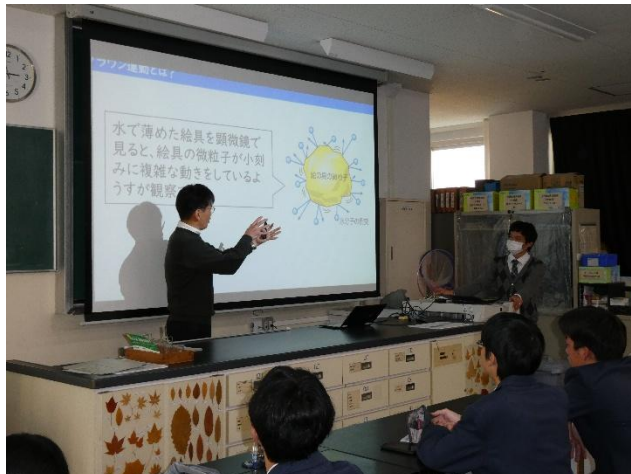
11月18日（火）、環境科学科2年生を対象に**教科等横断型授業「家庭×化学」（川南先生&木内先生）、「物理×生物」（山中先生&合田先生）」**を実施しました。通常、「SS環境科学探究V」は5～7限の50分×3コマで課題研究を行っていますが、この日は75分×2コマの変則的な時間割とし、GH組の生徒は「家庭×化学」「物理×生物」の両方の授業を受講しました。今回の授業を機に、教科・科目間のつながりや実生活との関連について考えてほしいと思います。また、この日は**「教科等横断型授業見学会Ⅱ」**ということで、県内高等学校教員の先生方等にも公開し、20名弱の方が来校され、授業を参観していただきました。

「家庭」×「化学」 授業者：川南ゆかり（家庭科）、木内真衣（理科）

テーマ：「炭水化物とその食品～化学構造にも注目しながら～」

「物理」×「生物」 授業者：山中資基（理科）、合田直人（理科）

テーマ：「生命現象を支える分子のはたらきとエネルギー」



家庭×化学のようす

物理×生物のようす

授業の最後にはKOYO-3Sルーブリック「HIMAWARI」で振り返りを行いました。以下、「家庭×化学」の生徒の感想です。

- 家庭と化学の2つを同時に学ぶことで、2つの教科のつながりを理解することができた。
- 習ったことのない分野でも習ったことのある分野と結びつけて考えるとわかりやすかった。
- 家庭ではマクロな視点で、化学ではミクロな視点で糖について知ることができた。